

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価 ○
	①自治会のお祭りや近所の学校行事への参加を積極的に行い、利用者の顔と名前を覚えて頂くよう、交流の場を大切にしている。 ②近所の方々をホーム行事に招待したり、又、その方々の口コミで入居された利用者も多くいるなど、お互いに支え合いながらホームに協力をしていく環境作り	
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価 ○
	①2カ月に1回の会議を定例化し、毎回、市町村担当・自治会・民生委員・家族の協力を得て、サービスの向上に努めている。 ②利用者のひとりひとりの状態より、その時々の問題を挙げて各機関から意見をもらい現場のケアにつなげている。	
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価 ○
	①運営推進会議にも定期的に参加してもらい、利用者の相談・援助のほかに介護保険法の改訂点について話を聞くなど、家族を含めての情報の交換と共有に努めている。 ②市町村主催の介護研修・管理者研修等に積極的に参加している。	
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価 ○
	①運営推進会議の他に利用者のBD会や季節行事等に毎回招待し、定期的なコミュニケーションの機会を作るよう心掛けている。 ②面会が少ない家族にも定期的ここちらから電話を入れ情報交換に努めている。 ③利用者や家族が抱えている、思いや不安などを少しでも聞きとり、ケアの実践	
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価 ○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

犬山の山間にある、田園風景に囲まれた場所に位置するホームで、近所の方々との交流も深い。  
市町村・自治会との連携もしっかりと取れており、お互いに支え合いながらホームに協力する環境作りが出来ているため、何か問題を抱えていても利用者・家族がともに安心して過ごせている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示)
3. 運営推進会議を活かした取組み	① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
	(例示)
4. 市町村との連携	① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示)
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。